

8 卷末資料

8-1	新設特殊工具	2
8-2	点検整備方式	3
8-3	サービスデータ	19
8-4	給油脂図	22

	No	工具番号	工具名称	用 途
エンジン, トランス ミッション	1	49818 5400	レンチ/リフト	バルブリフトの押し下げ
	2	49818 5500	ストッパ/リフト	バルブリフトの固定
	3	49920 6100	レンチCOMPL/クランクプーリ	クランクプーリ回り止め(鋳物製用)およびカムシャフトプロケットの位置決め, 脱着
	4	49920 5900	レンチCOMPL/カムシャフトギヤ	カムシャフトおよびギヤの組付け
	5	49920 6000	ホルダ/コントロールバルブ	コントロールバルブの脱着
	6	49958 6300	ガイド/バルブオイルシール	バルブステムシールの組付け
	7	49971 5900	リムーバ/バルブスプリング	バルブ, バルブスプリングの脱着
	8	49976 6000	シリンダヘッドテーブル (IN)	バルブ, バルブスプリング, バルブガイドの脱着
	9	49976 6400	シリンダヘッドテーブル (EX)	
	10	49976 6100	リムーバ/バルブガイド	バルブガイドの取外し
	11	49976 6200	アジャスタ/バルブガイド	バルブガイドの組付け
	12	49984 5570	アタッチメント/コンプレッションゲージ	シリンダーコンプレッション測定用
	13	49834 9000	セレクトモニタカートリッジ	スバルセレクトモニタ用
ボデー	1	28399KC000	ハブプーラ	ハブをハウジングより取外す
	2	34099KC000	スパナ/プーリ	パワーステアリングポンププーリの脱着
	3	34099KC010	スパナ/ロックナット	ステアリングギヤボックス分解組立, 調整
	4	34099KC020	インスローラ/シール	パワーステアリングギヤボックスの分解・組立
	5	34099KC030	ガイド/ラック	
	6	34099KC040	スペーサ/ベアリングピニオン	

■ E-KK3, E-KK4

車 名	ス バ ル		
指 定 年 月 日	文 書 番 号	指定番号 又は 新型自動車番号	型 式
平成 4 年 2 月 3 日	第39号	7066	E-KK3
		7067	E-KK4

文 書 番 号					
注 記 :					

- 1) 運行前点検項目の判定基準は自動車使用者に周知徹底を図る。
- 2) 「●」印は法規で義務付けられた点検時期を示し、「○」印はその外メーカーで推奨することを示す。
- 3) 「×」印は該当しないことを示す。
- 4) 「☆」印は保安部品の定期交換を示す。その交換時期は一般走行する不特定多数の車を対象に定めてある。
従って著しく走行条件の異なるものは、これに準拠して交換する。
- 5) 「※」印は初期点検のみを示す。(※1は初期1か月時、※5は初期6か月又は5000km時点検を示す。)
- 6) 「〔 〕」内は第1回目の交換時期を示す。

点 検 整 備 項 目		点 検 整 備 時 期						判 定 基 準	備 考
		運 行 前	自 6 か 月 毎	家 用 12 か 月 毎	事 業 用 24 か 月 毎	等 用 1 か 月 毎	単 位 千 km 12 か 月 毎		
か じ り 装 置	ハンド ル	遊び、緩み及びがた		●	●	●	※1	遊びは直進状態にてホイール外周で マニュアル： 0 ～ 25mm パワステ：（油圧作動時） 0 ～ 25mm	
		操作具合		●	●	●	※1		
	ギヤ・ボ ックス	油漏れ		●	●	●			
		取付けの緩み		●	●	●			
		軸受部のがた				●			
		ギヤのバックラッシュ				●			×
	ロッ ド 及 び ア ーム 類	緩み、がた及び損傷		●	●	●			
		ボール・ジョイントのダスト・ブーツの亀裂 及び損傷		●	●	●			
		連結部の摩耗及び取付状態				●			
		ナックル・アームの亀裂及びナックルとの取 付状態				●			
	ナ ッ ク ル	連結部のがた		●	●	●			
		ナックルとフロント・アクスルとのすき間				●			×
装 置	か じ 取 り 車 輪	ホイール・アライメント		●	●			トーイン -3 ～ 3 mm キャンバ FF車 30' ± 45' (20' ± 45') 4WD車 45' ± 45' (20' ± 45') キャスタ 3° 10' ± 1°	() 内は スーパーチャ ージャーを示す
								内 側 FF車 38° 55' ± 1° 30' (34° 50' ± 1° 30') 4WD車 39° 20' ± 1° 30' (34° 50' ± 1° 30') 外 側 FF車 33° 05' ± 1° 30' (30° 25' ± 1° 30') 4WD車 33° 20' ± 1° 30' (30° 25' ± 1° 30')	() 内は スーパーチャ ージャーを示す
				●	●				
	パ ワ ス テ ・ ア リ ン グ 装 置	ベルトの緩み及び損傷		●	●	●	※1 ※5	ベルトテンションボルトの座面を合わせる	
		油漏れ及び油量		●	●	●	※1	レベルゲージの上限～下限ラインの間にあること	
		取付けの緩み		●	●	●			インテグラル式
	制 動 装 置	遊び及び踏み込んだときの床板とのすき間		●	●	●	※1 ※5	◇ (1) 遊び 1 ～ 3 mm (2) 踏力約 30 kgで踏込時 床面とのすき間 6.5 mm 以上	
		踏みしろ及びきき具合		●					
		ブレーキのきき具合		●	●	●	※5	◇ 制 動 力 後 輪 和 軸重の 20% 以上 各輪左右差 軸重の 8% 以下 き 和 検査時車両重量の 50% 以上 5) 前軸の全ての車輪がロックし、計測困難な場合は、 その状態で総和に対し適合するとみなす 作 力 20 kg のとき 引きしろ 3 ～ 5 ノッチ 全ストローク 17 ノッチ	
		引きしろ		●	●	●	※1 ※5		
制 動 装 置	駐 車 ブ レ ー キ レ バ ー	ブレーキのきき具合		●	●	●		制動力 検査時車両重量の 20% 以上 操作力 50 kg 以下	
		ラチェット部の摩耗及び損傷				●			

点検整備方式——KK3, KK4

点 検 整 備 項 目			点 検 整 備 時 期							判 定 基 準	備 考
			運 行 前	6 か 月 毎	12 か 月 毎	24 か 月 毎	1 か 月 毎	3 か 月 毎	12 か 月 毎		
制 動	ロー ッド ブ 及 ル び 類	緩み、がた及び損傷				●		●	●		
	ホバ ーイ スブ 及 び	漏れ、損傷及び取付状態		●	●	●	●	●	●	※1 ※5	
	リ・ ザ・ タン バク	液 量	●	●	●	●	●	●	●	※1 ※5 ◇ 液面レベル MAX～MINラインの間にあること	
	マシ スリ タン ・ダ シ及 リび ンデ ダイ ス	ホイール・シリング及びディスク・キャリパ の液漏れ			●	●					
	ホク イ・ キ ル ヤ ・リ バ	機能、摩耗及び損傷				●			●		
装 置	倍 力 装 置	機 能				●					
		油密及び気密							●		
	ブ及 レ ビ ー ブ キ レ ー ド キ ラ ・ シ ユ ー	ドラムとライニングとのすき間			●	●	●	●	●		×
		シューの摺動部分及びライニングの摩耗			●	●		●	●	◇ 標準厚さ 3.9 mm 仕様限度 1.7 mm	
		ドラムの摩耗及び損傷				●			●	標準径 180.0 mm 使用限度 182.0 mm	
走 行 装 置	バブ ック リー ・ト	バック・プレートの状態							●		
	ブ及 レ ビ ー バ キ ッ ド デ ィ ス ク	ディスクとパッドとのすき間			●	●		●	●		×
		パッドの摩耗			●	●		●	●	標準厚さ 9.0 mm 使用限度 1.5 mm	
		ディスクの摩耗及び損傷				●			●	標準厚さ 9.0 mm 使用限度 7.5 mm ソリッド 18.0 mm ベンチレーテッド 16.0 mm	
		フア ロク ンス トル ・ リ ・ ヤ ハ ・ウ アジ クス グル	損傷及び変形							●	
走 行 装 置	リ・ ヤ・ ウ アジ クス グル	損傷及び変形							●		×
	ホ イ ー ル	タイヤの空気圧	●	●	●	●	●	●	●	※5 ◇ (単位: kg/cm ²) タイヤ仕様 135SR12 155/70R12 73S 155/65R13 73S 155/65R13 73H 145/70R12 69S 155/60R13 69H 155/60R13 70H T105/90D12 T105/70D14 前輪 後輪 2.0 2.1 4.2	

点検整備方式——KK3, KK4

点 検 整 備 項 目		点 検 整 備 時 期							判 定 基 準	備 考
		運 行 前	自 6 か 月 毎	家 用 12 か 月 毎	事 業 用 24 か 月 毎	1 か 月 毎	3 か 月 毎	12 か 月 毎		
走行 装置	タイヤの亀裂及び損傷	●	●	●	●	●	●	●	※5	
	タイヤの溝の深さ及び異状な摩耗	●	●	●	●	●	●	●	※5 残 溝 1.6 mmまで	
	タイヤの金属片、石その他の異物	●	●	●	●	●	●	●	※5	
	ホイール・ナット及びホイール・ボルトの緩み			●	●	●	●	●	※1 ◇ ホイール・ナットの締付けトルク 8.0 ~ 10.0 kg・m	
	リム及びホイール・ディスクの損傷				●					
	リム、サイド・リング及びホイール・ディスクの損傷				●	●	●			
	フロント・ホイール・ベアリングのがた				●	●	●		◇ アクスル中心部における軸方向の遊び 0 ~ 0.3 mm	
	リヤ・ホイール・ベアリングのがた				●		●		◇ アクスル中心部における軸方向の遊び 0 ~ 0.3 mm	
緩衝 装置	シヤシばね 損 傷				●	●	●			
	シヤシばね 左右のたわみの不同						●			
	取付部の緩み及び損傷				●					
	取付部（ブラケット部を除く。）の緩み及び損傷					●	●			
	連結部のがた				●		●			
	リーフのずれ						●			×
	ブラケットの取付けの緩み及び損傷						●			
	サ・スパイラムシヨン 連結部のがた及びアームの損傷				●		●			
動力 伝達 装置	シヨック・アブソーバ 油漏れ及び損傷				●	●	●			
	シヨック・アブソーバ 取付部のがた				●	●	●			
	ク ラ ッ チ 作 用			●	●	●	●	●	※1	“
	ク ラ ッ チ 液 量			●	●		●	●		×
動力 伝達 装置	トランスミッション 油漏れ及び油量			●	●	●	●	●	※1 ◇ MT車 : フィラ・プラグ穴下端から 0 ~ 6mmの間にあること ECVT車 : レベルゲージの 上限 ~ 下限目印の間にあること	※1 は漏れのみ
	トランスミッション 操作機構のがた				●			●		

点検整備方式——KK3, KK4

点 検 整 備 項 目		点 検 整 備 時 期							判 定 基 準	備 考
		運 行 前	自 家 用 6 か 月 毎	12 か 月 毎	24 か 月 毎	1 か 月 毎	3 か 月 毎	12 か 月 毎		
動 力 伝 達 装 置	プロペラ・シャフト及びドライブ・シャフト									
	連結部の緩み		●	●		●	●	※1		
	自在継手部のダスト・ブーツの亀裂及び損傷		●	●		●	●			
	スプライン部のがた			●			●			
	自在継手部のがた			●			●			
	プロペラ・シャフトの振れ						●		0.6 mm以下	2WD車は点検不要
	センタ・ベアリングのがた			●			●			"
電 気 装 置	デンフシヤレル						●			
	油漏れ及び油量		●	●	●	●	●	※1	フィラ・プラグ穴下端から 0～5mmの間にあること	※1は漏れのみ リヤデファレンシャルのみ
	点火プラグの状態		●	●	●	●	●		プラグ・ギャップ DOHCスーパーチャージャ車 0.8～0.9mm SOHCスーパーチャージャ車 0.7～0.8mm 上記以外 1.0～1.1mm	
	点火時期		●	●	●	●	●	※1 ※5	（単位：BTDC°/rpm） スーパーチャージャ無ECVT車 10/900 上記以外 10/800	
	断続器の状態		●	●	●	●	●			×
	ディストリビュータのキャップの状態		●	●		●	●			
	進角装置（遅角機構を含む。）の機能		●	●		●	●			×
装 置	バ ッ テ リ		●	●	●	●	●		液面レベル 上限～下限ラインの間にあること	
	液の比重		●	●		●	●		液温20℃のとき 比重 1.240 ～ 1.280	
	ターミナル部の接続状態		●	●		●	●			
	電 気 配 線				●	●	●	※1		
原 本 動 機	かかり具合及び異音		●	●	●	●	●			
	低速及び加速の状態		●	●	●	●	●		アイドリング回転数（単位：rpm） スーパーチャージャ無ECVT車 900 上記以外 800	
	排気の状態		●	●	●	●	●			
	エア・クリーナ・エレメントの状態		●	●	●	●	●			
	シリンダ・ヘッド及びマニホールド各部の締付状態						●		締付けトルク シリンダ・ヘッド（冷間） 3.5 ～ 4.0 kg・m マニホールド 吸気 1.5 ～ 1.7 kg・m 排気 2.5 ～ 5.0 kg・m	
	圧縮圧力						●		（単位：kg/cm ² -rpm） 圧縮圧力限界 4 Cyl 各気筒間差 DOHCスーパーチャージャ車 9.0-300 SOHCスーパーチャージャ車 8.5-300 上記以外 10.0-300	
	弁すき間			●			●	※1	（冷間） 吸 気 0.15 mm 排 気 0.20 mm	

点検整備方式——KK3, KK4

点 検 整 備 項 目		点 検 整 備 時 期							判 定 基 準	備 考
		運 行 前	自 6 か 月 毎	家 用 12 か 月 毎	事 業 用 24 か 月 毎	1 か 月 毎	3 か 月 毎	12 か 月 毎		
原 動 機	潤 滑 装 置	油の汚れ及び量	●	●	●	●	●	●	※5 ◇ レベルゲージのF～L目印の間にあること	
		油漏れ		●	●	●	●	●	※1	
		オイルの量	●							
	燃 料 装 置	燃料漏れ		●	●	●	●	●	※1	
		キャブレタのリンク機構の状態			●		●	●		×
		スロットル・バルブ及びチョーク・バルブの状態			●		●	●		スロットル・バルブの状態
		噴射ノズルの噴射圧力及び噴霧状態			●		●	●		×
		噴射時期及び噴射量			●			●		×
		供給ポンプの機能						●		×
		燃料の量	●							
	冷 却 装 置	水 量	●	●	●	●	●	●	※5 ◇ リザーバ・タンクの FULL～LOWラインの間にあること	
		ファン・ベルトの緩み及び損傷	●	●	●	●	●	●		×
		水漏れ	●	●	●		●	●	※1	
		ラジエータ・キャップの機能			●		●	●	開弁圧 0.8 ～ 1.0 kg/cm ²	
ば い 煙 、 悪 臭 の あ る ガ ス 、 有 害 な ガ ス 等 の 発 散 防 止 装 置	ブ ガ ロ ス 還 元 装 置 ・ 配 管	メーターリング・バルブの状態			●		●			×
		配管の損傷			●		●			
	燃 料 蒸 発 ガ ス 排 出 抑 止 装 置	配管等の損傷			●		●			
		チャコール・キャニスタの詰まり及び損傷			●		●			
		チェック・バルブの機能			●		●			
		触媒反応方式等排出ガス減少装置の取付けの緩み及び損傷		●	●		●	●		
	一 酸 化 炭 素 等 発 散 防 止 装 置	二次空気供給装置の機能		●	●		●	●		×
		排気ガス再循環装置の機能		●	●		●	●		×
		減速時排気ガス減少装置の機能		●	●		●	●		×
		配管の損傷及び取付状態		●	●		●	●		
	熱 止 害 装 置	遮熱板の取付けの緩み及び損傷		●	●		●	●		

点 検 整 備 項 目		点 検 整 備 時 期							判 定 基 準	備 考
		運 行 前	自 家 用 6 か 月 毎	自 家 用 12 か 月 毎	自 家 用 24 か 月 毎	事 業 用 1 か 月 毎	事 業 用 3 か 月 毎	事 業 用 12 か 月 毎		
灯方 火向 装指 置示 及器 び	作 用		●	●	●	●	●	●	※5	
	点滅具合、汚れ及び損傷	●								
警洗テ施 言浄フ錠 器液口装 噴ス置 窓射夕 拭装及 器置び 、	作 用			●	●		●	●		
後反 写射 鏡鏡 及 び	写影の状態	●								
反自番車 射動号両 器車標番 及登义号 び録は標	汚れ及び損傷	●								
計 器	作 用			●	●		●	●		
エ及 グび ゾマ ーフ スラ スト ・ パイ プ	取付けの緩み及び損傷			●	●		●	●		
	マフラの機能				●			●		
高 圧 ガスを燃料とする 燃料装置等	導管及び継手部のガス漏れ及び損傷			●	●		●	●		×
	ペーバライザのタール			●	●		●	●		×
	ガス容器取付部の緩み及び損傷				●			●		×
	座席のある車室との間の気密				●			●		×
車 枠 及 び 車 体	ドア・ロックの機能				●		●	●		
	緩み及び損傷				●		●	●		
座 席	座席ベルトの状態			●				●		
前に扶れ 日おがた のい認箇 運てめ所 行異ら	当該箇所に異状がない事を確認	●								
そ の 他	シャシ各部の給油脂状態			●	●	●	●	●		

点 検 整 備 項 目		点 検 整 備 時 期										点 検 方 法 及 び 判 定 基 準	備 考
		運 行 前	自 家 用			事 業 用 等			走 毎 行 の キ ロ メ ー タ の 読 み 取 り 時 間 (千 km)	交 換 期 間 (年)			
			6 か 月 毎	12 か 月 毎	24 か 月 毎	1 か 月 毎	3 か 月 毎	12 か 月 毎					
制 動 装 置	リ ザ ー バ タ ン ク									2 (1)		() 内は事業用等	
	保 安 部 品	マスタ・シリンダ、ホイール・シリンダ及びディスク・キャリパのゴム部品の交換								☆ 2 (3) (1)		() 内は第1回目 () 内は事業用等	
		ブレーキ・ホースの交換								☆ 4 (5) (2)		() 内は第1回目 () 内は事業用等	
		倍力装置バキューム・ホースの交換								☆ 4 (5) (2)		() 内は第1回目 () 内は事業用等	
動 力 伝 達 装 置	ト ラ ン ス ミ シ ヨ ン								40				
		カーボン・ブラシの摩耗							40		摩耗限界マークまで	ECVT車のみ	
	デ ン フ ィ ャ レ ル	ギヤ・オイルの交換							40			リヤデファレンシャルのみ	
電 気 装 置	点 火 装 置								20				
	充 電 発 電 機	ベルトの緩み及び損傷	○	○	○	○	○	○	※1 ※5		ベルトの中央部を約10kgの力で押したときの たわみ スーパチャージャ エアコン車 5～6mm スーパチャージャ エアコン無車 7～8mm スーパチャージャ無パワステ車 11～12mm スーパチャージャ無パワステ無車 8～10mm		
原 動 機	本 体	エア・クリーナ・エレメントの交換							40	2 (3)		() 内は第1回目	
		タイミング・ベルトの緩み			○	○			○	※1			
		タイミング・ベルトの交換									4 (5)	() 内は第1回目	
		スーパチャージャの油量				○			○			スーパチャージャ車のみ	
	スーパチャージャ・ベルトの緩み及び損傷	○	○	○			○	○	※5		ベルトの中央部を約10kgの力で押したときの たわみ 6.5～7.5mm	〃	
機	潤 滑 装 置	オイル・フィルタの交換							10				
		エンジン・オイルの交換								10 (5)	0.5	() 内はSC級 オイルの使用又は スーパチャージャ車の 場合を示す	
	燃 料 装 置	フューエル・フィルタの交換							40	1			
	冷 却 装 置	冷却液の交換							40	2 (3)		() 内は第1回目	
	保 安 部 品	フューエル・ホースの交換								☆ 4 (5) (2)		() 内は第1回目 () 内は事業用等	

■ V-KW3, V-KW4

車 名	ス バ ル		
指 定 年 月 日	文 書 番 号	指定番号 又は 新型自動車番号	型 式
平成4年2月3日	第39号	7068	V-KW3
		7069	V-KW4

文 書 番 号					
注 記 :					

- 1) 運行前点検項目の判定基準は自動車使用者に周知徹底を図る。
- 2) 「●」印は法規で義務付けられた点検時期を示し、「○」印はその外メーカーで推奨することを示す。
- 3) 「×」印は該当しないことを示す。
- 4) 「☆」印は保安部品の定期交換を示す。その交換時期は一般走行する不特定多数の車を対象に定めてある。
従って著しく走行条件の異なるものは、これに準拠して交換する。
- 5) 「※」印は初期点検のみを示す。(※1は初期1か月時点検を示す。)

点 検 整 備 項 目		点 検 整 備 時 期							判 定 基 準	備 考
		運 行 前	自 家 用 6 か 月 毎	自 家 用 12 か 月 毎	自 家 用 24 か 月 毎	事 業 用 1 か 月 毎	事 業 用 3 か 月 毎	事 業 用 12 か 月 毎		
か じ 取 り 装 置	ハンド ル	遊び、緩み及びがた		●	●		●	●	※1 遊びは直進状態にてホイール外周で マニュアル： 0 ～ 25mm パワステ：（油圧作動時） 0 ～ 25mm	
		操作具合		●	●		●	●	※1	
	ギヤ・ボ ックス	油漏れ			●		●	●		
		取付けの緩み			●		●	●		
		軸受部のがた						●		
		ギヤのバックラッシュ						●		×
	ロッ ド 及 び ア ーム 類	緩み、がた及び損傷			●	●		●	●	
		ボール・ジョイントのダスト・ブーツの亀裂 及び損傷			●	●		●	●	
		連結部の摩耗及び取付状態						●		
		ナックル・アームの亀裂及びナックルとの取 付状態						●		
	ナ ッ ク ル	連結部のがた			●		●	●		
		ナックルとフロント・アクスルとのすき間						●		×
	か じ 取 り 車 輪 置	ホイール・アライメント			●			●	トーイン -3 ～ 3 mm キャンバ FF車 30' ± 45' 4WD車 45' ± 45' キャスト 3° 10' ± 1°	
									内 側 FF車 38° 55' ± 1° 30' 4WD車 39° 20' ± 1° 30'	
									外 側 FF車 33° 05' ± 1° 30' 4WD車 33° 20' ± 1° 30'	
		左右の回転角度			●			●		
制 動 装 置	パ ワ ス テ ・ ア リ ン グ 装 置	ベルトの緩み及び損傷		●	●	●	●	●	※1 ベルトテンションナボルトの座面を合せる	
		油漏れ及び油量			●	●	●	●	※1 レベルゲージの上限～下限ラインの間にあること	
		取付けの緩み			●		●	●		インテグラル式
	ブ レ ー キ ・ ペ ダ ル	遊び及び踏み込んだときの床板とのすき間		●	●	●	●	●	※1 ◇ (1) 遊び 1 ～ 3 mm (2) 踏力約30kgで踏込時 床面とのすき間6.5mm以上	
		踏みしろ及びきき具合	●							
		ブレーキのきき具合			●	●	●	●	◇ 制 動 力 後 輪 和 軸重の20%以上 各輪左右差 軸重の 8%以下 総 和 検査時車両重量の50%以上 注) 前輪の全ての車輪がロックし、計測困難な場合は、 その状態で総和に対し適合するとみなす	
									操 作 力 20 kgのとき 引きしろ 3 ～ 5 ノッチ 全ストローク 17 ノッチ	
									制動力 検査時車両重量の20%以上 操作力 50kg以下	
	駐 車 ブ レ ー キ レ バ ー	引きしろ	●	●	●	●	●	●	※1	
		ブレーキのきき具合			●	●	●	●		
		ラチェット部の摩耗及び損傷						●		

点 検 整 備 項 目			点 検 整 備 時 期 等							判 定 基 準	備 考
			運 行 前	自 家 用 6 か 月 毎	12 か 月 毎	24 か 月 毎	1 か 月 毎	3 か 月 毎	12 か 月 毎		
制 動	ローテッドブ及び類	緩み、がた及び損傷				●		●	●		
	ホバースプ及びび	漏れ、損傷及び取付状態		●	●	●	●	●	●	※1	
	リ・ザンパック	液 量	●	●	●	●	●	●	●	※1 ◇ 液面レベル MAX～MINラインの間にあること	
	マシスリタン・ダシ及びリンディグ・スホク・イ・キル・リ・バ	ホイール・シリング及びディスク・キャリバの液漏れ			●	●					
		機能、摩耗及び損傷				●			●		
	倍力装置	機 能				●					
		油密及び気密							●		
	ブ及びレブキ・ド・キラム・シュー	ドラムとライニングとのすき間			●	●	●	●	●		×
		シューの摺動部分及びライニングの摩耗			●	●		●	●	◇ 標準厚さ 3.9 mm 仕様限度 1.7 mm	
		ドラムの摩耗及び損傷				●			●	標準径 180.0 mm 使用限度 182.0 mm	
装 置	バブレックター・ト	バック・プレートの状態							●		
	ブ及びレバキ・ド・ディスク	ディスクとパッドとのすき間			●	●		●	●		×
		パッドの摩耗			●	●		●	●	標準厚さ 9.0 mm 使用限度 1.5 mm	
		ディスクの摩耗及び損傷				●			●	標準厚さ 9.0 mm 使用限度 7.5 mm	
走 行	フアロクンストル・	損傷及び変形							●		×
	リ・ヤハ・ウ・アジクンズグル	損傷及び変形							●		×
	ホ イール	タイヤの空気圧	●	●	●	●	●	●	●	◇ (単位: kg/cm ²) タイヤ仕様 135SR12 前輪 2.0 後輪 2.3 145/70R12 69S 前輪 2.3 後輪 2.3 T105/90D12 前輪 4.2 後輪 4.2 T105/70D14 前輪 4.2 後輪 4.2	

点 検 整 備 項 目			点 検 整 備 時 期 等							判 定 基 準	備 考
			運 行 前	6 か 月 毎	12 か 月 毎	24 か 月 毎	1 か 月 毎	3 か 月 毎	12 か 月 毎		
走 行 装 置	ホ イ ー ル	タイヤの亀裂及び損傷	●	●	●	●	●	●	●		
		タイヤの溝の深さ及び異状な摩耗	●	●	●	●	●	●	●	残 溝 1.6 mmまで	
		タイヤの金属片、石その他の異物	●	●	●	●	●	●	●		
		ホイール・ナット及びホイール・ボルトの緩み			●	●	●	●	●	※1 ◇ ホイール・ナットの締付けトルク 8.0 ~ 10.0 kg・m	
	リ ム	リム及びホイール・ディスクの損傷			●						
		リム、サイド・リング及びホイール・ディスクの損傷				●	●	●			
		フロント・ホイール・ベアリングのがた				●		●	●	◇ アクスル中心部における軸方向の遊び 0 ~ 0.3 mm	
		リヤ・ホイール・ベアリングのがた				●			●	◇ アクスル中心部における軸方向の遊び 0 ~ 0.3 mm	
緩 衝 装 置	シャ シ ス ト ン	損 傷				●		●	●		
		左右のたわみの不同							●		
	取 付 部 及 び 連 結 部	取付部の緩み及び損傷				●					
		取付部（ブラケット部を除く。）の緩み及び損傷						●	●		
		連結部のがた				●			●		
		リーフのずれ							●		×
		ブラケットの取付けの緩み及び損傷							●		
	サ サ イ ン シ ョ ン	連結部のがた及びアームの損傷				●			●		
		油漏れ及び損傷				●		●	●		
		取付部のがた				●		●	●		
動 力 伝 達 装 置	ク ラ ッ チ	ペダルの遊び及び切れたときの床板とのすき間	●	●	●	●	●	●	●	※1 遊 び 5 ~ 15mm 切れたときの床板とのすき間 6.5mm以上	ECVT車は 点検不要
		作 用			●	●	●	●	●	※1	〃
		液 量			●	●		●	●		×
	ト ラ ン ス ミ ッ シ ョ ン	油漏れ及び油量			●	●	●	●	●	※1 ◇ MT車 : フィラ・プラグ穴下端から 0~6mmの間にあること ECVT車 : レベルゲージの 上限~下限目印の間にあること	※1は漏れのみ
		操作機構のがた				●			●		

点検整備方式——KW3, KW4

点 検 整 備 項 目		点 検 整 備 時 期								判 定 基 準	備 考
		運 行 前	自 家 用 6 か 月 毎	家 用 12 か 月 毎	事 業 用 24 か 月 毎	1 か 月 毎	3 か 月 毎	12 か 月 毎	単 位 (km)		
動 力 伝 達 装 置	プロペラ・シャフト及びドライブ・シャフト			●	●		●	●	※1		
	連結部の緩み			●	●		●	●	※1		
	自在継手部のダスト・ブーツの亀裂及び損傷			●	●		●	●			
	スプライン部のがた			●				●			
	自在継手部のがた			●				●			
	プロペラ・シャフトの振れ							●		0.6 mm以下	2WD車は点検不要
	センタ・ベアリングのがた			●				●			“
電 気 装 置	デンフシヤレル			●	●	●	●	●	※1	◇ フィラ・プラグ穴下端から 0～5mmの間にあること	※1は漏れのみ リヤデファレンシャルのみ
	油漏れ及び油量			●	●	●	●	●	※1		
	点火プラグの状態		●	●	●	●	●	●		プラグ・ギャップ 1.0 ～ 1.1mm	
	点火時期		●	●	●	●	●	●	※1	◇ (単位: BTDC°/rpm) MT車 6/800 ECVT車 6/900	
	断続器の状態			●	●	●	●	●	※1	ポイント・ギャップ 0.4～0.5mm	接点式のみ
	ディストリビュータのキャップの状態			●	●		●	●			
	進角装置 (進角機構を含む。) の機能			●	●		●	●			
装 置	バ		●	●	●	●	●	●		◇ 液面レベル 上限～下限ラインの間にあること	
	液 量		●	●	●	●	●	●			
	液の比重			●	●		●	●		液温20℃のとき 比重 1.240 ～ 1.280	
	ターミナル部の接続状態			●	●		●	●			
原 本 動 機	電気配線				●	●	●	●	※1		
	接統部の緩み及び損傷				●	●	●	●	※1		
	かかり具合及び異音			●	●	●	●	●			
	低速及び加速の状態		●	●	●	●	●	●		◇ アイドリング回転数 MT車 800 rpm ECVT車 900 rpm	
	排気の状態		●	●	●	●	●	●			
	エア・クリーナ・エレメントの状態			●	●	●	●	●			
	シリンダ・ヘッド及びマニホールド各部の締付状態							●		締付けトルク シリンダ・ヘッド (冷間) 3.5 ～ 4.0 kg・m マニホールド 吸気 1.5 ～ 1.7 kg・m 排気 2.5 ～ 5.0 kg・m	
機	圧縮圧力							●		◇ (単位: kg/cm ² -rpm) 圧縮圧力限界 4Cyl 10.0～300 各気筒間差 1.0kg/cm ² 以内	
	弁すき間				●			●	※1	(冷間) 吸 気 0.15 mm 排 気 0.20 mm	

点検整備項目		運行前	点検 目録 6 か月 毎	検査 12 か月 毎	整備 24 か月 毎	時期 等 1 か月 毎	3 か月 毎	12 か月 毎	単 位 (km)	判定基準	備考
原動機	潤滑装置	油の汚れ及び量	●	●	●	●	●	●		◇ レベルゲージのF～L目印の間にあること	
		油漏れ		●	●	●	●	●	※1		
		オイルの量	●								
	燃料装置	燃料漏れ		●	●	●	●	●	※1		
		キャブレタのリンク機構の状態			●		●	●			
		スロットル・バルブ及びチョーク・バルブの状態			●		●	●			
		噴射ノズルの噴射圧力及び噴霧状態			●		●	●			×
		噴射時期及び噴射量			●			●			×
		供給ポンプの機能						●			×
		燃料の量	●								
	冷却装置	水量	●	●	●	●	●	●		◇ リザーバ・タンクの FULL～LOWラインの間にあること	
		ファン・ベルトの緩み及び損傷	●	●	●	●	●	●			×
		水漏れ	●	●	●	●	●	●	※1		
		ラジエータ・キャップの機能			●		●	●		開弁圧 0.8 ～ 1.0 kg/cm ²	
ばい煙、悪臭のあるガス、有害なガス等の発散防止装置	ブガロス・還バ元装置	メタリング・バルブの状態			●			●			×
		配管の損傷			●			●			
	燃料蒸発ガス排出抑制装置	配管等の損傷			●			●			
		チャコール・キャニスタの詰まり及び損傷			●			●			
		チェック・バルブの機能			●			●			
		触媒反応方式等排出ガス減少装置の取付けの緩み及び損傷			●	●		●	●		
	一酸化炭素等発散防止装置	二次空気供給装置の機能			●	●		●	●		×
		排気ガス再循環装置の機能			●	●		●	●		×
		減速時排気ガス減少装置の機能			●	●		●	●		×
		配管の損傷及び取付状態			●	●		●	●		
	熱止害装置	遮熱板の取付けの緩み及び損傷			●	●		●	●		

点 検 整 備 項 目		点 検 整 備 時 期							判 定 基 準	備 考
		運 行 前	6 か 月 毎	12 か 月 毎	24 か 月 毎	1 か 月 毎	3 か 月 毎	12 か 月 毎		
灯方 火向 装指 置示 及器 び	作 用		●	●	●	●	●	●		
	点滅具合、汚れ及び損傷	●								
警洗デ施 音浄フ錠 器液ロ装 噴ス置 窓射タ 拭装及 器置び 、	作 用			●	●		●	●		
	写影の状態	●								
反自番車 射動号両 器車標番 及登又号 び録は標	汚れ及び損傷	●								
計 器	作 用			●	●		●	●		
エ及 グび ゾマ ーフ スラ ト・ パイ プ	取付けの緩み及び損傷			●	●		●	●		
	マフラの機能				●			●		
高 圧 ガスを燃 料とす る燃 料装 置等	導管及び継手部のガス漏れ及び損傷			●	●		●	●		×
	ペーパライザのタール			●	●		●	●		×
	ガス容器取付部の緩み及び損傷				●			●		×
	座席のある車室との間の気密				●			●		×
車 枠 及 び 車 体	ドア・ロックの機能				●		●	●		
	緩み及び損傷				●		●	●		
座 席	座席ベルトの状態				●			●		
前に状れ 日おがた のい認箇 運てめ所 行異ら	当該箇所に異状がない事を確認	●								
そ の 他	シャシ各部の給油脂状態			●	●	●	●	●		

点検整備方式——KW3, KW4

点 検 整 備 項 目			点 検 整 備 時 期								点 検 方 法 及 び 判 定 基 準		備 考	
			運 行 前	自 家 用			事 業 用 等			走 行 の キ 整 ロ 備 (km				交 換 年 (毎
				6 か 月 毎	12 か 月 毎	24 か 月 毎	1 か 月 毎	3 か 月 毎	12 か 月 毎					
制 動 装 置	リ ザ ー タ バ ン ・ ク	ブレーキ液の交換									2 (1)		() 内は事業用等	
	保 安 部 品	マスタ・シリンダ、ホイール・ シリンダ及びディスク・キャリパ のゴム部品の交換									☆ 2 (1)		() 内は事業用等	
		ブレーキ・ホースの交換										☆ 4 (2)		() 内は事業用等
		倍力装置バキューム・ホースの交換										☆ 4 (2)		() 内は事業用等
動 力 伝 達 装 置	ト ラ ン ス ミ ッ シ ョ ン	トランスミッション・オイルの交換							40					
		カーボン・ブラシの摩耗							40		摩耗限界マークまで		ECVT車のみ	
	デ フ ア ン レ ン シャ ル	ギヤ・オイルの交換							40				リヤデファレンシャル のみ	
電 気 装 置	点 火 装 置	点火プラグの交換							20					
	充 電 発 電 機	ベルトの緩み及び損傷		○	○	○	○	○	○	※1		ベルトの中央部を約10kgの力で押したときの たわみ パワステ車 11～12 mm パワステ無車 8～10 mm		
機 体 動 機	本 体	エア・クリーナ・エレメントの交換							40	2				
		タイミング・ベルトの緩み			○	○			○	※1				
		タイミング・ベルトの交換									4			
	潤 滑 装 置	オイル・フィルタの交換							10					
		エンジン・オイルの交換							10 (5)	0.5			() 内はSC級 オイル使用の場合 を示す	
	燃 料 装 置	フューエル・フィルタの交換							20	1				
冷 却 装 置	冷却液の交換							40	2					
保 安 部 品	フューエル・ホースの交換									☆ 4 (2)		() 内は事業用等		

<エンジン>

項 目		NAキャブレータ	NAEMPi(MT)	NAEMPi(ECVT)	SCEMPi-SOHC	SCEMPi-DOHC
エンジン型式		EN07A	EN07E	EN07E	EN07Z	EN07X
排気量 cc		658				
内径×行程 mm		56.0×66.8				
最高出力 ps/rpm (ネット)		42/7000	52/7200	48/6400	64/6400	64/7200
最大トルク kg・m/rpm (ネット)		5.3/4500	5.5/5600	5.6/4000	8.6/4400	9.0/4000
圧 縮 比		10.0			8.5	9.0
圧縮圧力 kg/cm ² /rpm		11.5/300			10.0/300	10.5/300
シリンダヘッド歪み限度 mm		0.05				
シリンダヘッド研摩限度 mm		0.15				
スパークプラグ		BKR5E-11 K16PR-U11	BKR6E-11 K20PR-U11		BKR6E K20PR-U	DCPR7E XU22EPR-U
スパークプラグギャップ mm		1.0~1.1			0.7~0.8	0.8~0.9
イグニション コイル	1次コイル抵抗	1.2Ω±10%	1.5Ω±10%		1.4Ω±10%	
	2次コイル抵抗	26.0KΩ±15%	26Ω±15%		13.7KΩ±15%	
	雑防コンデンサ	0.25μF	←		←	
	外付抵抗	1.7Ω	—			
点火時期 BTDC°/rpm	5MT	6/800	10/800	—	—	10/800
	ECVT	6/900	—	10/900	10/800	—
バルブ クリアランス	インテーク	0.15±0.02mm				
	エキゾースト	0.20±0.02mm				
ヘッドボルトの締付方法 初期 (冷間)		(交換時) 3.0±0.3kg・mで締付後一旦ゆるめ 2.0±0.05kg・mにて締付後更に90°締付ける。 〔参考〕 この時、締付トルクは3.5~4.0kg・mの範囲になる。				
マニホールド 締付トルク (冷間)	インテーク	1.9±0.2kg・m				
	エキゾースト	3±0.5kg・m				
オルタネータ	出 力	12V-12A				
	調整電圧	14.2V~14.8V				
スタータ	P/S無し		0.65	0.7		—
	P/S付き	2WD	0.65	0.7		0.65
		4WD	0.7	0.75		
	寒冷地 2WD		0.7	0.75		

<トランスミッション>

項 目		NA キャブレータ	NA EMPi(MT)	NA EMPi(ECVT)	SC EMPi
サーモスタット	開弁温度 ℃	85 (DOHC : 82)			
	閉弁温度 ℃	100 (DOHC : 95)			
エンジンオイル量 (l)		2.7			
Vベルト& Vリブドベルト のゆるみ mm/10kg ()内は継続使 用の場合を示す	オルタネータ	7 ~ 8 (8 ~ 10)			
	オルタネータ+P/S	10~11 (11~12)			—
	オルタネータ+A/C	—			4.5~5.5mm
	A/C付き	8.5~9.5 (9.5~11)			—
	SC+P/S付き	—			6 ~ 7 (6.5~7.5)
アイドルCO濃度		1.5%以下			
アイドルHC濃度		1000ppm以下			

<トランスミッション&リヤデフ>

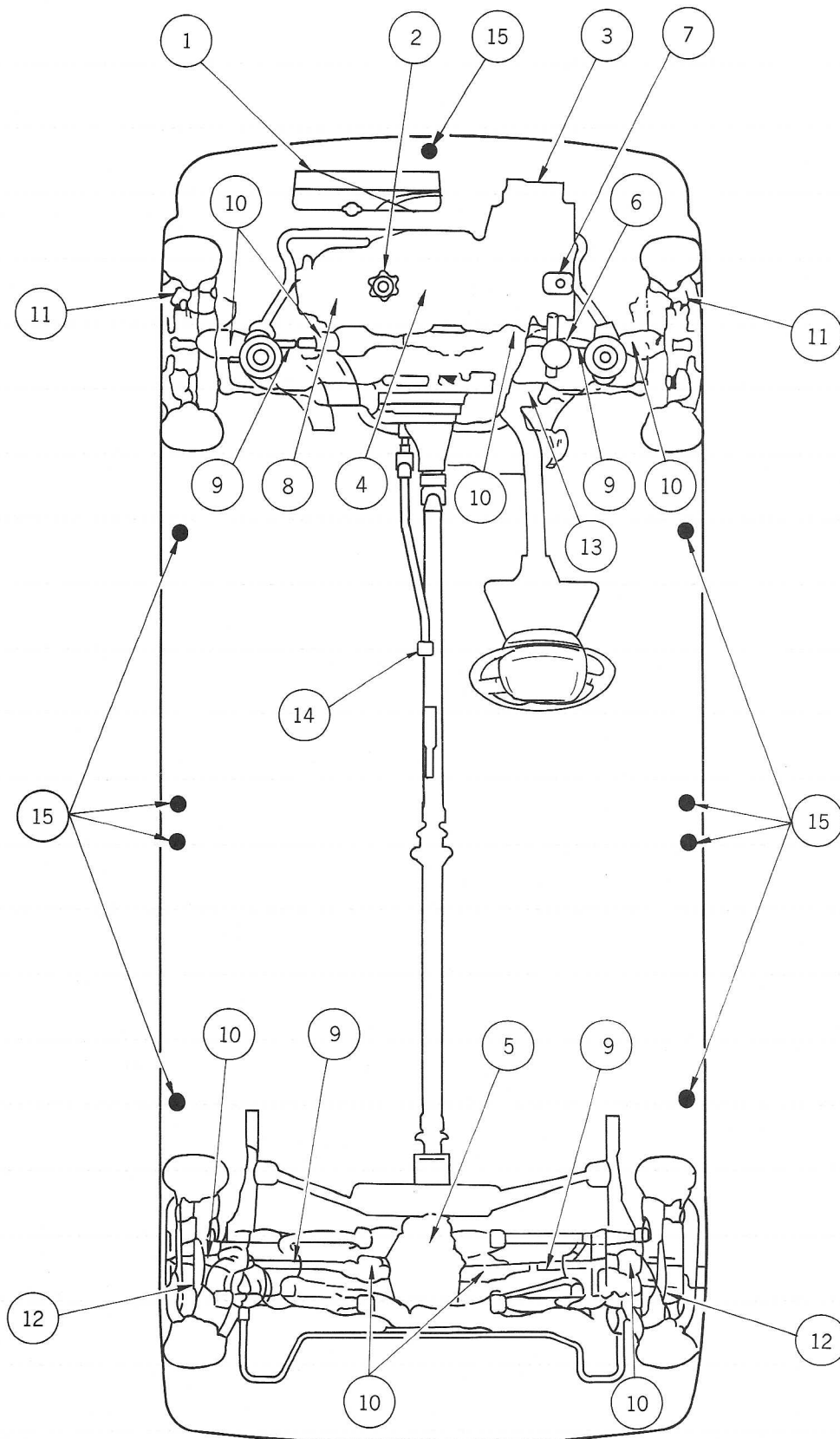
項 目			2 W D		4 W D	
			全 量	交換時	全 量	交換時
トランスミッション	ギヤオイル量 (l)	NA	1.9	1.8	3.3	2.8
		SC	2.2	2.1		
		ECVTフルード量 (l)		2.6～2.9		3.3～3.6
リヤデフ	ギヤオイル量 (l)		—		2.7～2.9	

< ボデー >

項 目		2 W D	4 W D
フューエルタンク容量 l		32	
フューエル ポ ン プ 吐 出 量 l/h	NA・キャブ	17 (電磁式)	
	NA・EMPi	45 (電動式)	
	SC	80 (電動式)	
ラジエータキャップ 開弁圧 kg/cm ²		0.8~1.0	
ブレーキ ペダル	遊 び	1 ~ 3 mm	
	床板との す き ま	65mm以上 (踏力30kg時)	
クラッチ ペダル	遊 び	5 ~ 15mm	
	床板との す き ま	65mm以上 (クラッチが切れたとき)	
フロント ホイール アライ メント	トーイン		- 3 ~ 3 mm
	キャン バ	NA	30'±45' 45'±45'
		SC	20'±45' 20'±45'
	キャ スタ	3°10'±1°	
リア ホイール アライ メント	トーイン		0 ± 3 mm
	キャン バ	NA	-25' -10'
		SC	-25' -25'
アクスルナット 締付トルク kg-m	フロント	18.0±2.0	
	リア	6.0 ABS付: 15.0	15.0
ホイールサイズ	一般	12×3.50B (スチール)	
		12×4.00B (スチール)	
		12×4.00B (8 スポーフ)	
		12×4.00B (アルミ)	
	RX-R	13×4.00B (スチール)	
	GX	13×4.00B (アルミ)	

項 目			2 W D	4 W D
ホイールナット締付トルク kg-m			9.0±1.0	
ハンドルの遊び mm			0 ～25	
だ 角	NA	内側	38°55′±1°30′	39°20′±1°30′
		外側	33°05′±1°30′	33°20′±1°30′
	SC	内側	34°50′±1°30′	39°20′±1°30′
		外側	30°25′±1°30′	30°25′±1°30′
フロント ディスク の 厚 さ	φ180 (ベンチレ ーテッド)	標準	18mm	
		限度	16.0mm	
	φ180 (ソリッド)	標準	9 mm	
		限度	7.5mm	
フロントブレーキ パッドの厚さ		標準	9 mm	
		限度	1.5mm	
ライニング厚さ		標準	3.9mm	
		限度	1.7mm	
ドラム内径		標準	180mm	
		限度	182.2mm	
ブレーキレバー		操作力	20kg	
		引き代	3 ～ 5 ノッチ	
バッテリ () は 5 時間放電率		MT	26B17L (12V－21Ah)	38B20L (12V－28Ah)
		ECVT	26B17L (12V－21Ah)	38B20L (12V－28Ah)
		寒冷地	38B20L (12V－28Ah)	

NO.	給油箇所名		油	脂名	備考
1	ラジエータ		冷却水	スバルクーラント	
2	エンジン		エンジンオイル	スバルモータオイル ◎HG (SE級) ◎4WD (SF級) ◎スーパー (SE級) ・レッド (SD級) ・ゴールド (SD級)	◎印：推奨オイルを示す。
3	スーパーチャージャ		スーパーチャージャオイル	スーパーチャージャ専用オイル	通常はオイル量点検
4	トランスミッション	MT	トランスミッションオイル	スバルギヤオイルエクストラ75/80	
		ECVT	トランスミッションフルード	スバルECVTフルード	
5	リヤデファレンシャル		リヤデファレンシャルオイル	スバルギヤオイル ◎4WD 75W-80(GL-5) ◎MP-S 75W-80(GL-5) ・MP-80 (GL-4)	◎印：推奨オイルを示す。
6	ブレーキ		ブレーキフルード	スバル純正ブレーキフルードS	
7	パワステオイルタンク		パワステアリングフルード	デキシロンII	
8	トランスミッション メインシャフト スプライン部		グリース	FX2200 クラッチグリース	
9	アクスルシャフト ベアリング&オイルシール		グリース	シェル6459N	
10	DOJ		グリース	VU-3A702(黄色)	
	BJ		グリース	モリレックスNo2&サンライ トTB2-A	
	TJ		グリース	ワンルーバMNK	
11	ブレーキ	ホイールシリンダ	グリース	ニグルグループRX-2	ピストンブーツ内
		パッド	グリース	PBCグリース	パッドとサポートの摺動部 パッドとシムの接触面
12	ドラムブレーキ シューとバックプレートの接 触面		グリース	ブレーキグリース (ダフコーニング：モリ コート7439)	
13	ステアリングギヤボックス		グリース	バリエントグリースM2	
14	ギヤチェンジレバー摺動部		グリース	出光ダフニコロニスク NO.2	
15	その他 ペダグン摺動部、バックドア ヒンジ、ドアヒンジ、ドア チェッカ、フロントフード ロック部およびヒンジ、フ ューエルフィラリッド		グリース	サンライト2号 オートレックスA コバコート	



MEMO

A large rectangular area containing horizontal dashed lines for writing. A faint, large-scale diagram of a mechanical or electrical system is visible in the background, spanning the width of the page. The diagram includes various components like pipes, valves, and tanks, with some parts labeled with circled numbers (e.g., 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 56, 57, 58, 59, 60, 61, 62, 63, 64, 65, 66, 67, 68, 69, 70, 71, 72, 73, 74, 75, 76, 77, 78, 79, 80, 81, 82, 83, 84, 85, 86, 87, 88, 89, 90, 91, 92, 93, 94, 95, 96, 97, 98, 99, 100). The diagram is oriented vertically, with the top of the system at the top of the page and the bottom at the bottom. The lines of the diagram are very light and serve as a background for the memo area.

A large rectangular area with a solid black border, containing 20 horizontal dashed lines for writing.

MEMO

MEMO

A large rectangular area with a solid black border, containing 20 horizontal dashed lines for writing.

A-4.5-160

1992年3月 発行 1版

禁複製・転載

——— 実費 1,600円 ———

(消費税は含まれておりません)

編 集 ・ 発 行

富士重工業株式会社

東京都新宿区西新宿一丁目7番2号

問い合わせ先： 国内営業本部国内サービス部
サービス教育課

本社一社一冊

第1冊 1940年 日本軍用航空機

海軍・空軍部

1940年1月 第1次

日本軍用航空機の発展と現状

日本軍用航空機工業工場 付録・図表

昭和15年1月1日現在 航空機工業工場

昭和15年1月1日現在 航空機工業工場
昭和15年1月1日現在 航空機工業工場



富士重工業株式会社